

活動レポート



R1
5/28

全国町村議会議長会 令和元年度町村議会議長・副議長研修会 ～これからの町村議会を考える～

場所：東京国際フォーラムホールA



「町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告」

山梨学院大学法学部教授 江藤 俊昭氏
明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授 牛山 久仁彦氏
首都大学東京都市環境学部准教授 長野 基氏

町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会の委員である3人の講師の方より最終報告について話を伺いました。まず、行政改革と定数、報酬の削減は違うと指摘がありました。

調査によると、議員報酬の低さと議員定数の少なさが、無投票当選に繋がっているとのこと。報酬を増額しているところをみると、検討過程において住民参加が充実していると増額にプラスの作用があり、中でも人口が少ない町村で増額の取り組みが行われています。「住民自治の根幹」として議会を作動させるために報酬と定数を考える必要があり、将来に多様な人材が議会に参加でき、持続可能にすることが大事であります。この報告書をたたき台に、今後のことを考えていく必要があると思いました。

町村議会特別表彰

「小規模議会の在り方を求め ～夜間・休日議会の挑戦～」

長野県喬木村議会議長 下岡 幸文氏

40代50代の議員が出てくれたことをきっかけに、この人たちが潰しては駄目だと地域の实情に合った改革に取り組み、夜間・休日議会など兼業議員が活動しやすい環境整備を整備しています。

「町民に寄り添う議会を目指して ～鳥取県若桜町議会の歩み～」

鳥取県若桜町議会議長 川上 守氏
副議長 前住 孝行氏

町長等の反問権の付与や議会運営及び議会活動を検証し、毎月1回以上の各常任委員会等を開催して調査を行なっています。毎年、男女共同参画やパワハラ・モラハラなど人権問題に関する研修会も行い、子ども議会も行なっています。

「京都府与謝野町議会の取り組み ～町民に信頼され存在感のある議会を目指して～」

京都府与謝野町議会議長 家城 功氏

議会活性化委員会を立ち上げ、町民アンケートを実施し、その結果、議員の資質の向上を図ることになり、有識者を招いて研修を行い、議会基本条例を制定しています。これからは、女性の議会参加への取り組みやペーパーレス化への研究を行なっていくそうです。

議事録

議長編

R1
5/27

群馬県町村議会議長会理事会

場所：群馬県市町村会館

R1
5/30

群馬県町村議会 議長会臨時総会

場所：利根郡みなかみ町

5月27日開催の理事会にて選任した会長、副会長、監事が総会にて承認され、本議会議長の南千晴氏が副会長に就任しました。



群馬県町村議会議長・事務局長研修会

「住民自治の根幹」としての議会力・議員力の発揮へ

長野県飯綱町 前議会議長 寺島 渉氏

寺島氏は、議長を2期務められ、議会改革には議会事務局長の力も大事だということから、首長の選んだ職員でなく、議長に唯一ある議会事務局長の任免権を活用し、やる気のある若手の職員を自ら引き上げて一緒に議会改革に取り組み、また、女性や若者などを重視した「議会だより」モニターや議会に町民参加を広げるため政策サポーター制度導入など、様々なことを実践してきました。

これからは「住民自治の根幹」として議会が機能していくかが問われていると指摘していました。そして、必ずしも議員が優秀だとは限らない。だから議会力、議員力のアップを図る視点で、住民と幅広い意見交換をすすめ、その意見を踏まえて議会として責任を持って決定することが重要であるとお話してくださいました。

先駆議会の取り組みを参考にできることから考えていきたいと思います。



心身の健康を育むぐっすり快眠術

睡眠コンサルタント 友野 なお氏

睡眠には、パフォーマンスが上がる、免疫が向上する、眠る子どもほど成績が良いなどといった効果があるそうです。睡眠不足は、脳、心、身体に悪影響を及ぼし、運動のパフォーマンスや心のモチベーションにも関係してくるとのことです。睡眠時間の国際比較を見ると、日本は圧倒的に少なく、家事や育児、介護が妨げとなり男性に比べて女性が寝ていない状況だそうです。また、昼寝も認知症のリスクを下げるなどの効果もあるとのこと。睡眠スキルはビジネススキルということですので、質の良い睡眠をとって、健康と活動の効率を上げていきたいです。



「学んで生かすべし」

活動レポート



議会広報常任委員会編

R1
7/9

令和元年度町村議会広報クリニック 場所：TKP 麹町駅前会議室

「伝わる議会広報の企画と編集」

ーデザインの原則を意識した広報づくりー

一般財団法人自治体広報公聴研究所代表理事
公共コミュニケーション学会理事
博士（公共政策学） 金井 茂樹氏

研修内容

- 研修の目的
- 自治体広報の理論
- 編集方針
- デザインの原理・原則
- 企画
- 編集等一貫した議会広報



まず、テーマとして「何を伝えるか」「どのように表現するか」それに対する評価等の改善目的とし、審議の経過と結果に間違いがないかをもととして、住民の声をいかに活かすかを考える、「押し」ない議会広報づくりを学びました。



レポート

議会だよりは住民の「思い」「声」をいかに活かすかを考え理念とし、読者目線に立ってわかりやすい広報づくりを目指します。

すべての地域住民が対象なので、読者は多様であり、密着力と向上力を養って“わかりやすさ”“美しさ”で紙面を作成し、住民から愛されるよう高い目標に挑戦し意識改革をしてまいります。

（蜂巣 實）